



# 公民館報

# さかえ

第363号

令和7年3月1日発行

発行  
栄村公民館  
〒389-2703  
長野県下水内郡栄村  
大字堺9214-1

電話  
0269-87-2100

編集  
栄村公民館報編集委員会

当部地区にあるシェアハウスをご存知でしょうか。シェアハウスとは一つの住居に複数人が共同で暮らす住宅です。3年前まで地域おこし協力隊で活動していた佐藤慎平さん(天地)が、栄村の田舎暮らしをいろんな方に体験していただきたいと、空き家を活用したシェアハウスを運営しています。

佐藤・最初は、地域の方と接する機会が少なく、交流ができない日々が続きました。積極的にあいさつ回りや地域活動等に参加し、少しずつ馴染んでいくことができ、今ではたくさんの方と交流する機会ができました。昨年の6月頃には村外の方8人にシェアハウスを使っていたきました。田舎暮らしを堪能しながら、私の畑作業のお手伝いや地元住民との交流をして、田舎の魅力を感じてもらえる良い時間ができました。私自身も利用者と密に連絡をして、シェアハウスを作ったことをきっかけにたくさんの方とお話をする機会ができたので、大変やりがいを感じています。

また、田んぼや畑のお手伝いや村内

で働く機会が増えてきて、地域交流の範囲が広がり、地元のたくさんの方と繋がりが持つことができました。

当部のシェアハウスを一年半ほど利用している尾崎太一さん(北海道出身)は、村の駅伝大会に出場するなど、栄村に滞在してから、いろんな場面で活躍されています。



尾崎・田んぼや畑が一面に広がる田舎暮らしに憧れがありました。当部のシェアハウスは住み心地がよく、ほかの住人さんとの交流も楽しいです。また、慎平さんをきっかけに地元住民とお話ができたり、農業に少し携わったりできて充実した楽しい生活を送れています。

最近では、栄村の移住者が増え、それぞれの場面で活躍されているので、今後も様々な発展を期待しています。

盛り上がりました！

# 道祖神祭り



1月は各集落で道祖神祭りが行われ、無病息災や五穀豊穡を願いました。今回は青倉、横倉、白鳥、小赤沢の4つの集落の道祖神祭りを取材させていただきました。

## 青倉

青倉集落では、1月12日(日)に行われました。当日の朝、道祖神作りを行い、多くの住民が集まる中で点火しました。雪で作った祭壇にお参りし、お酒とお米(生米)が振舞われました。



## 横倉

横倉集落では、1月12日(日)旧公民館跡地の雪の上で行われました。横倉では年男と年女が火をつけます。また独自の伝統で燃えたカヤの炭を顔に塗りあいます。ほぼ全員が顔を真っ黒にして大いに盛り上がりました。



## 白鳥

白鳥集落では、1月13日(月)に行われました。白鳥集落では、当日の早朝に「ジジ」と「ババ」の二つの道祖神を作ります。白鳥集落の道祖神の作り方は独特で、「ババ」は木枝を組み合わせ、行事が始まる合図役となり、「ジジ」は煙が空高く渦が舞うように中を空洞にして藁を積み上げていきます。左の写真を見てわかるように、煙が渦巻いて燃え上がっています。



## 小赤沢

小赤沢集落では、他の集落とは違い、全部杉の木の葉を使って道祖神を作ります。また、例年では1月15日に行われますが、今年は1月11日の土曜日に行われました。休日の開催で普段仕事で出られなかった方々も参加して、燃えあがる際や最後のみかん投げが大変盛り上がりました。



栄村の伝統食

# みみだんごを作りました

今年の冬は「みみだんご」を食べましたか？少し前までは、村内のどこの家庭でもたくさん作って、ストーブの上などで焼いて食べる、冬の定番のおやつでした。長野県内では「やしょうま」と言われ、「みみだんご」は栄村独自の呼び方です。2月15日の「涅槃会（ねはんえ）」に仏壇へお供えし、それを参拝者や子どもたちに配るといふ風習があります。箕作の常慶院では今でも、2月15日の涅槃会に参拝した人たちに配られています。2月12日に近所の方がお手伝いに来て、1斗5升の米粉でたくさんの「みみだんご」を作っていました。耳の形にするのは庶民の声を聞いてもらいたいという願いからだとか。県内では真ん中がくびれた分銅形や花卉のかたちをしたものなど様々な形があるようです。ほんのりと甘みや塩味があり、米粉のおいしさを味わうことができます。青豆を入れるのが一般的ですが、各家庭により、青のり、ごま、桜えび、カボチャ、くるみなど好みによりいろんなものを入れて楽しんでます。

平成の初めころは家で作ったものを親戚や子どもたちに送るために、郵便局に荷物を出しに来る人がたくさんいたそうで、野田沢郵便局ではそれらを集めて「みみだんご」の展示会を行っていたそうです。写真は平成元年2月16日に撮影された「みみだんご展」の様子です。色や形など家庭ごとに個性があって見ているだけでも楽しいですね。



栄村公民館では2月11日に公民館講座「みみだんごを作ろう」を開催しました。当日は雪の中、子どもから年配の方まで大勢の方に参加いただき、楽しくみみだんごを作ることができました。材料の手配や調理器具の都合で参加人数を制限したため、希望者全員が受講できず失礼しました。栄村の伝統食を引き継いでいくために、来年度以降も計画したいと思います。



## みみだんごレシピ

〈材料〉

- ・米粉 1.5kg
- ・砂糖 120～150g  
(好みで調整)
- ・塩 20～35g  
(好みで調整)
- ・青豆 1.5カップ

- ① こね鉢又は大きめのボールで米粉、砂糖、塩をよく混ぜて、熱湯を少量ずつ入れながらまとめていく。
- ② 耳たぶより固いくらいになったら丸めて、さらに熱湯を加えながらよくこねて、耳たぶくらいの固さにする。
- ③ 蒸気の上がった蒸し器にこし布を敷き、一握りずつちぎって蒸気を通るように蒸し器に入れ、30～40分、全体に火がとおり透きとおったような色になるまで蒸す。(青豆を入れる場合は、ザルに入れてここで一緒に10～15分くらい蒸す。)
- ④ ③をこね鉢又はボールに移し、すりこぎ棒でつき、青豆を散らすように入れてこね合わせる。(好みにより、青豆でなくゴマや青のり、クルミなどを入れても良い。)
- ⑤ 350g位に取り分けて棒状にしてから中央を凹ませ耳の形に整形する。
- ⑥ よく冷まして固くなったら8mm程度の厚さに切り分ける。

※これは一般的なレシピで、家庭により小麦粉を入れたり片栗粉を入れたり、砂糖をもっと少なくしたり、またうるち米ともち米の粉をブレンドしたりなど個性があるようです。自分の好みの味を研究するのも面白いですね。

# 栄村の伝統文化「わら細工」

伝統文化集落支援員 安田 深雪

伝統文化集落支援員の安田です。昨年7月から活動を始めてから8ヶ月が経ちました。

ここで1年目の活動報告をいたします。

1年目の活動テーマは「いかに村内外の人々に栄村のわら細工に興味をもってもらえるか」。

そのためにはまず知ってもらわなければ何も始まらないと考え、メインの活動として「ねこつぐらの製作実演」を行っています。毎週火曜日は役場内で、水、土、日曜日は歴史文化館こらっせで実演をしています。



長野市のイベントでの実演を行いました

また、出張実演として10月には秋山郷と長野市で、11月には物産館またたびで行われたイベントに参加して実演をしました。

見学された方々からは、「ねこつぐらの存在は知っていたものの実物や作っているのを見たのは初めて。見られてよかった」と喜んでいただけました。

小学校の活動にも関わらせてもらいました。

7月と11月には伝統工芸について調べる授業で児童からインタビューを受けました。11月後半には先生の職員研修でわら細工作りの講師を、12月には授業でしめ縄作りの講師をしました。先生も児童も楽しんで取り組まれていました。地域の活動にも関わらせてもらいました。

8月中旬には小滝集落で東京の財団を招いてのイベントでしめ縄作りの講師を、8月下旬には東京の中高一貫校の生徒たちの村内活動体験の一環でねこつぐら実演を、12月には公民館講座でしめ縄作り教室の講師をしました。藁に

触れるのが初めての人も多く、貴重な体験ができたみなさん満足されていました。



小滝集落でのしめ飾り作りの様子

実はメインの製作実演以外は全て先方からの依頼がきっかけでした。

伝統文化集落支援員の存在を早々に認知してくださり、それぞれの活動の材料としてわら細工を取り入れようと考えてくださったのはとてもありがたいことです。よい勉強になりましたし、経験値が増えました。

これからも村の皆さまと連携して、2年目以降はさらなる幅広い活動をしていこうと考えています。よろしくお願いいたします。

## 第11回 野田沢庭先キャンドル祭り 2025開催!

長く続いた最強寒波が去って雪も降り止んだ2月23日(日)に野田沢庭先キャンドル祭りが2年ぶりに行われました。前日から野田沢区総出で準備を行い、当日は雪も止んで良い日になりました。雪はたっぷりあるので雪の一夜城「野田沢城」は迫力満点、野田沢と程久保のキャンドル回廊も素敵な情景になりました。最後のスカイランタンも夜空に幻想的に昇ってゆき、ご来場の皆さんも満足されていました。キャンドル祭りは野田沢区の皆さんが楽しもうと始めた催しです。準備から開催まで区の皆さんが楽しんでいることがご来場の方々にも伝わったと思います。



あーそんなことがあったんか  
ど先生の栄村昔語り  
其の六十七

# 村定について(その四)



地域史料保全有志の会  
鈴木 努 (通称: ど先生)  
イラスト作成: 佐藤洋平

年初以来、豪雪が続いています。いかかお過ごしでしょうか。昨年にくらべて二倍から三倍の積雪量となっておりますが、寒波が去らず、既に20年前の大豪雪に匹敵する勢いになっていきます。色々な事故も起きやすくなりますから、どうかお気をつけください。

「村定メ」の話題を続けております。前々回は「旅者宿」をして村定法に触れてしまった事例を紹介しました。今回は、なぜ「旅者宿」が禁止されるのか、を説明し

たいと思います。改めて古文書の文言を見ると、「博奕ばくえきをすること、博奕宿をすること、殊に旅者宿を逗留とらうさせてはならない、と言っています。宿の禁止を定住する村および村人の側から見れば、治安の維持や取締りのため博奕をする者や身元の判らない者を家に入れないのが目的といえます。では宿を借りた側事情はどうでしょうか。言い換えれば近世社会で百姓層が移動する事情とは何か、ということです。

中村吉治という研究者の整理によれば、移動の事情は逃散・還住・移住・旅行、また領主の転封や町の発展に伴う移住・移動、新田開発や鉱業発展、出奉公、人身売買が挙げられています。中世戦国期までは、例えば市河氏のように領主は地方在住が当たり前、また村落も小前百姓が自立してくる

前の、少数の大百姓が支配する時代でした。その頃には下人身分などを除き、百姓層の移動が特に制限された様子はありませんでした。近世に入ると、領主層は城下に集住し、小前百姓が自立する時代になります。百姓の経営単位が小さく且つ多数になるいっぽう、領主は村落の居住者の把握が難しくなります。そして過重な貢租や役員担に窮迫して村を捨てる者が絶えず発生しつつ、新田開発などが盛んな地域には流入者を受け入れる余地が生まれ、そうした新天地を求めて離村する者も現れてきます。領主にとって耕作者の流出は打撃ですから、耕作者を何とかして土地に緊縛しようとし、移動を制限しようとしています。

移動制限の手法が身元証明の付与です。他所への出奉公や旅行など、帰ることを約束した移動には、村役人への届出を要しますが手形など身元証明を得ることができません。が、片道切符の移動や無断の他出は身元証明が得られない場合が考えられます。特に領主に対する抵抗である「逃散」あるいは「越訴」のような場合は公然とは出来

ません。居村を捨てて逃亡する者を指す「走り者」「走り百姓」という言葉もありました。

勿論 治安の問題は大きいですが。近世前期は村々や領知をまたぐ盗賊の跋扈が問題になっており、幕府は地方取締の触書で、盗賊に警戒するように、との箇条に続けて、夜間の出入りや他所者の宿泊の規制を触れ出しています。十七世紀後半には、厳しい穿鑿せんさくによって盗賊が在々から「欠落かけおち」し、村を離れ、諸所へ流れていきました。

こうした村の事情、領主の事情、そして移動する者の事情が相まってきました。村としては取締りや治安という事情はありましたが、領主の触出を受けて規制を実施するものなので、村の側でどこまで必要性を感じていたかは判りません。また規制を破ってまで宿を貸す者の事情や理屈が何だったか、史料は残っていませんが興味深いところでは絶えず現れ、争論も絶えませんでした。そして思わぬ結果となることもありました。続きます。

# 栄村公民館 図書室だより

..... 2025.3 .....

今年の春分の日は3月20日です。昼と夜の長さが同じになり、この日を境に昼がだんだん長くなっていき夜が短くなる季節の節目となる日です。春の訪れが待ち遠しいですね。

## 冬期間村内移動図書巡回、あと1か月です！

12月から始めた村内移動図書はのべ118名の方にご利用いただいています。大きな文字の本や、お料理の本などもご用意しています。こたつに入って読書しませんか。巡回時間が不明な方は公民館図書室 ☎87-3118までお問い合わせください。

西部・豊栄・水内	秋山・東部
3/6(木)	3/7(金)
3/19(水)	3/21(金)
4/3(木) 返却のみ	4/4(金) 返却のみ

## 新着図書の紹介

- よむよむかたる (浅倉かすみ) / 宙わたる教室 (伊与原新)
- 時間の虹 紅雲町珈琲屋こよみ (吉永南央)
- 全員犯人、だけど被害者、しかも探偵 (下村敦史)
- さくらのまち (三秋縋) / アイムハウス (由野寿和)
- 禁忌の子 (山口未桜) / 嘘か真言か (五十嵐律人)
- その嘘を、なかったことには (水生大海)
- 人魚が逃げた (青山美智子) / 青い壺 (有吉佐和子)
- 団地のふたり (藤野千夜) / 母親からの小包はなぜこんなにダサイのか (原田ひ香)
- きみが来た場所 Where are you from? Where are you going? (喜多川 泰)
- 自分史上、最高にうまい 人生を変える野菜料理 (Shun)
- 至高の鍋 黄金の配合つゆでメまでおいしい一生モノレシピ100 (リュウジ)
- 具体と抽象 一世界が変わって見える知性のしくみ (細谷功)
- 脳科学でわかった! 80歳からでも若返る すごい脳活おりがみ (伊達博充 (著)、西剛志 (監修))
- 「好き」を言語化する技術 推しの素晴らしさを語りたいのに「やばい!」しかでてこない (三宅香帆)
- シルバー川柳14 ワシだって財布の中はキャッシュレス (全国有料老人ホーム協会)
- おもちのきもち (かがくいひろし)



## ブックリサイクル 実施中

図書室での役割を終えた本を図書室前にあるブックリサイクルコーナーに置いています。ご自由にお持ちいただけますので来室の際はお立ち寄りください。

### ★お知らせ★

返却していない本をお持ちの方はなるべく早くお返しく下さい。諸事情で図書室に来られない方は連絡してください。(☎87-3118)

### ★栄村図書室開放時間★

平日 午前8時半～午後5時  
土・日 午前9時～正午

### ★休館日のお知らせ★

4月26日(土)～27日(日)  
※祝日は休館します



おおばゆうと  
大庭悠斗さん（小滝・下高井農林高校1年生）

下高井農林高校に入学して約1年経ちました。入学当初は友達ができるか不安でしたが、小さい頃から習っていた野球のつながりで、同じ年のチームメイトが入学したのですぐに馴染むことができ、学校生活も楽しく過ごしています。

勉強も楽しくできて、その中でも資格がたくさん取れるのが魅力的だなと思ったので、これからは資格取得に励んでいきたいと思います。将来土木や建設関係の仕事をしたいので、仕事に活かせる資格をいっぱい取りたいです。



# おおきくな〜れ



大きくなったら、海に行って  
キャンプしたい！あと、一人でのんびりテレビ見たい！

えな  
咲風さん（4歳）

やりたいこと、好きなことを沢山見つけてね。心も体もしなやかに逞しく、大きくな〜れ！

保坂貞行さん・直子さん宅（月岡）

## ようこそ！栄村へ！！



しんどうまさたか  
真銅正孝さん（白鳥）

### 1. 栄村に移住を決めたきっかけはなんですか？

仕事がフルリモートで安定し、引っ越しを考えたのがきっかけです。

東京に通える距離で移住を考えて、最終候補に残っていたのが栄村でした。移住を決めるまでも何度か内覧させて頂いて、人の雰囲気も良かったため移住を決めました。都内まで3時間半弱で通えつつ、家も駅前だったので物件の条件が良かったのも後押しになりました。

他にも候補はありましたが、全国を回り続けるのも大変なので、最後は“えいや”で決めました。結果としてはそれが良かったです。

### 2. これから栄村で挑戦したいことがあればお聞かせください。

まだ移住1年目なので、まずは地域に慣れていくことをやっていきたいです。

移住してから1年目の生活は刺激ばかりでしたが、これからは白鳥での生活が日常になっていくように、慣れていきたいと思っています。

# こらっせ通信

2月19日(水)「集いの場にじいろ」の皆さんが栄村公民館に来てくれました。この日は、館長や管理人と一緒に昼ご飯を食べて、日ごろの出来事などをお話ししたり、音楽を聴いたり楽しいひと時になりました。

公民館はだれでも集って利用できる空間です。ぜひみなさん、お出かけください。また、公民館講座も行っていますので、お気軽にご参加ください。



## ブッポウソウの巣箱づくりに挑戦!



昨年の5月にブッポウソウ調査に参加いただいた、栄小学校4年生の皆さんが、授業の中でブッポウソウの巣箱づくりを行いました。

毎年ブッポウソウ調査に協力いただいている保坂祐二さん(横倉)を講師に、ノコギリや玄翁を使って楽しく作りました。

巣箱が完成したら、今年のブッポウソウ調査の際に掛けたいということでしたので、巣箱にブッポウソウが入ってくれるかとても楽しみです。

## 豆腐作り講座 開催します!

- 日 時：3月22日(土)  
9時30分から12時(予定)
- 場 所：栄村公民館 こらっせ
- 定 員：16名
- 申込先：教育委員会事務局 ☎87-3118

※お早めにお申込みください。参加者人数を正確にしたいので、電話での申込をお願いします。

## 今月の一句 ~栄村俳句会~

吹雪いても枝渡りゆく小鳥達	真っ白な里に届きし花使り	雪の中雪解け水をなめにけり	雪の壁リスよじ登る春の風	雪晴や昨日はきのう今日はきょう	雪見舞いなかなか切れぬ長電話	娘にもらうガーベラの花がんばろう	巳年故友より布のへビが来た
杉浦恵子	杉浦 仁	柳 静江	山田せき	関谷貞子	道祖神巳年の子等と灯入れして		

俳句の会への参加や俳句の投稿募集しています! ご興味がある方は栄村公民館(☎87-3118)までお電話ください。

## 編集後記

今年の冬は、大雪の年になりましたね。1月はあまり降りませんでした。2月に入って4日から3週間続いた大寒波の影響でよく降りました。1月中は2メートル越えるか越えないか位だったのが、一気に3メートルを越えました。除雪の毎日で疲れた方も、いるのではないのでしょうか? 雪解けの水で農作物が、よくてできる年になってくれれば嬉しいです!

私事ですが、公民館報の編集委員を8年間やらせていただいて、3月を最後に退任させていただきます。これまで、館報の記事にご協力いただいた沢山の皆さんに感謝を伝え、編集後記といたします。お世話になりました。有難う御座いました。